

特別会計

(単位:千円、%)

区 分	予算現額	歳 入		歳 出	
		決算額	収入率	決算額	執行率
国民健康保険特別会計	1,564,104	1,522,396	97.3	1,520,520	97.2
公共下水道事業特別会計	1,664,571	1,664,399	100.0	1,660,309	99.7
老人保健特別会計	203,141	192,340	94.7	182,544	89.9
介護保険特別会計	751,423	746,632	99.4	706,455	94.0
簡易水道事業特別会計	146,643	146,975	100.2	144,269	98.4
後期高齢者医療特別会計	134,311	115,104	85.7	110,837	82.5

【公共下水道事業特別会計】
平成20年度の一年間に、町に入った金額(歳入)16億6、439万9千円から使った金額(歳出)16億6、030万9千円を差引いた額は、409万円(実質収支)となり、平成20年度に繰り越しました。

【老人保健特別会計】
平成20年度の一年間に、町に入った金額(歳入)1億9、234万円から使った金額(歳出)1億8、254万4千円を差引

水道事業会計

(単位:千円、%)

区 分	予算現額	決算額	執行率	
収益的収支	収入	266,749	266,946	100.1
	支出	266,749	245,538	92.0
資本的収支	収入	133,708	133,709	100.0
	支出	243,351	243,350	100.0

(予算現額及び決算額については、消費税込みの金額です。)

【介護保険特別会計】
平成20年度の一年間に、町に入った金額(歳入)7億4、663万2千円から使った金額(歳出)7億645万5千円を差引いた額は、4、017万7千円(実質収支)となり、平成20年度に繰り越しました。

【簡易水道事業特別会計】
平成20年度の一年間に、町に入った金額(歳入)1億4、510万4千円から使った金額(歳出)1億1、083万7千円を差引いた額は、426万7千円(実質収支)となり、平成20年度に繰り越しました。

収益的収支については、収入が2億6、694万6千円、支出が2億4、553万8千円で当期純利益が2、417万6千円となりました。また、平成20年度末の未処理欠損金は1億5、043万8千円となっています。資本的収支については、収入が1億3、370万9千円、支出が2億4、335万円となり、不足額1億964万1千円は当年度分損益勘定留保資金と過年度分損益勘定留保資金で補っています。

水道事業会計の状況

【後期高齢者医療特別会計】
平成20年度の一年間に、町に入った金額(歳入)1億1、510万4千円から使った金額(歳出)1億1、083万7千円を差引いた額は、426万7千円(実質収支)となり、平成20年度に繰り越しました。

地方債・町有財産状況 平成20年度末の地方債の残高と町有財産の状況をお知らせします。

地方債

一般会計

(単位:千円、%)

区 分	金額	割合
一般公共事業債	1,210,064	7.9
公営住宅建設事業債	4,112,519	26.7
災害復旧事業債	352,921	2.3
教育・福祉施設等整備事業債	382,691	2.5
一般単独事業債	2,632,436	17.1
過疎対策事業債	3,474,965	22.6
厚生福祉施設整備事業債	72,229	0.5
減税補てん債	237,498	1.5
臨時財政対策債	1,995,385	12.9
道貸付金	444,222	2.9
その他	477,623	3.1
合計	15,392,553	100.0

簡易水道事業特別会計

(単位:千円、%)

区 分	金額	割合
簡易水道整備事業債	781,376	100.0
合計	781,376	100.0

公共下水道事業特別会計

(単位:千円、%)

区 分	金額	割合
下水道事業債	4,262,951	79.2
資本費平準化債	1,093,660	20.3
災害復旧事業債	27,011	0.5
合計	5,383,622	100.0

水道事業会計

(単位:千円、%)

区 分	金額	割合
水道事業債	980,645	80.2
災害復旧事業債	241,995	19.8
合計	1,222,640	100.0

町有財産の状況

(単位:千円、㎡)

区 分	金額	面積
公の施設		2,258,139
土 地	宅 地	21,110
	山 林	2,275,859
	保 安 林	5,485,740
	原 野	638,831
	雑 種 地	167,116
地 (農地等の地目)	その他	112,097
	合計	10,958,892
建 物		154,221
有 価 証 券	71,053	
出 資 金	32,596	
基 金	2,346,611	



基金のうち歳入不足の補てんのために使用することができる基金の残高は、総額で7億917万4千円であり、内訳は、財政調整基金5億3,745万9千円、減債基金1億210万1千円、備荒資金組合積立金のうち超過納付分の6,961万4千円です。